

# 声の世界のうら話

ココだけで  
こっそり  
話します!

文  
声優K (東京在住)

早いもので今年も残り3ヶ月となってしまいました。  
コロナの影響で外出を極力控えていたため季節の移り変わりもあまり実感できず、気づけばもう秋の気配。  
コロナが猛威を奮って半年以上、一日も早く落ち着いてほしいものです。

## Take71:『海外の収録風景』

さてさて、今回は海外のアテレコ収録についてお話していきます。  
日本の収録方法については何度かお話ししました——みんなで集まって録っていく方法ですね。  
実はこの収録方法、日本くらいしかやっていないんです……。

海外でどのように収録しているのかというと、なんと一人ずつ収録していくんです!

でも一人で収録するということは、相手の台詞が聞けないということなので「ちぐはぐな会話になったりしないの?」なんて思ったりもしますが、この点はバッチリ対応されています。

## おしえて! お医者さん

ヒトパピローウイルス感染症(子宮頸がん等)  
予防ワクチンをご存知ですか?—後編—

さくら女性クリニック 院長 土橋 義房 先生



先週から「ヒトパピローウイルス感染症予防ワクチン(HPVワクチン)」についてお話しています。後編をお届けいたします。

### 子宮頸がんはどうしたら予防できますか?

子宮頸がんの原因となるHPV感染をHPVワクチンによってブロックすること(一次予防)と検診によるスクリーニングで前がん病変のうちに発見して治療し、浸潤がんを予防すること(二次予防)の併用が、世界的にも効果的な子宮頸がん予防と認められています。しかし、日本では子宮頸がん検診受診率は約40%と低く、HPVワクチンに至っては、平成14・15年度生まれの女子で1%未満の接種率と報告されています。残念ながら日本では、どちらの点でも立ち遅れているのが現状です。

### 子宮頸がん検診はどのようなものですか?

子宮頸部から細胞を採取して顕微鏡で異常を調べる「子宮頸部細胞診」による子宮頸がん検診は、昭和58年の老人保健法の施行以降、科学的根拠を持つ対策型検診として健康増進事業の枠組みで行われています。20歳以上の女性の、2年に1回を受診の対象としています。子宮頸がん検診で、子宮頸がんや前がん病変のある人を陽性と診断する割合(感度)は70~80%と報告されています。

### 日本で承認されているHPVワクチンの種類は?

2価ワクチンと4価ワクチンがあります。2価ワクチン(サーバリックス)は子宮頸がん50~70%を占めるHPV16・18型に対するワクチンで、4価ワクチン(ガーダシル)はHPV16・18型及び尖圭コンジローマの原因となるHPV6・11型の4つの型に対するワクチンです。

令和2年7月、我が国でも9つの型のHPV(6・11・16・18・31・33・45・52・58型)をターゲットとした9価ワクチンの製造・販売が承認されました。発売日は未定です。普及すれば子宮頸がんの90%以上が予防可能になると期待されています。

### HPVワクチンは子宮頸がんを予防する効果はまだ証明されていないと聞きましたが?

HPVワクチンは新しいワクチンなので、子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。オーストラリアなどの接種率が70%を超える国では、持続的なHPVの感染や子宮頸がんになる過程の異常(前がん病変)を予防する効果が確認されています。子宮頸がんは必ず前がん病変を経て浸潤がんへと進展していくことから、これらの国では子宮頸がんは確実に減少することが期待できます。

どんな端役でも、事前にディレクターと綿密な打ち合わせの時間が設けられているんです!

日本の場合まずは役者側が演じてみて、そこに演出が入ります。  
しかし海外では、最初からディレクターと役者が役について意見交換をし、方向性を決めてから収録に臨むわけですから、ディレクターがはっきりとしたビジョンを持って舵をとることができ、矛盾や台詞が噛み合わないといった現象が起きないようになっているんです。

ただし、この方法は非常に時間とお金がかかるため、現状の日本ではなかなか導入できない手法になっています。

国が違うと色々違うものですが、台本の扱いはどうなっているのでしょうか?

次回は海外の台本事情についてお話していきたいと思います。

### 【今月の一作：特別編2】

今回は映画館のリバイバル上映についてお話しましたが、ようやく新作も公開されるようになってきましたね!

もちろんまだまだリバイバル上映をしている映画館もありますが、大きなスクリーンで新作を見られるのはやはり嬉しいものです。

どの映画館もしっかりとコロナ対策を取っていると思いますが、映画館に足を運ぶ際は、なるべく人のいない時間帯、前後に人がいない席、極力物に触れず座席の手すりを除菌してから座るなど、できうる配慮をしていただいた上でぜひ楽しんでください!

### HPVワクチンの安全性はどう評価されていますか?

HPVワクチンの接種により、注射部位の一時的な痛み・腫れなどの局所症状は80%に認め、注射時の痛みや不安のために失神した事例もありますが、接種後30分程度安静にすることで対応が可能です。

平成29年11月の厚労省専門部会で、慢性疼痛や運動障害などHPVワクチン接種後に報告された「多様な症状」はHPVワクチンとの因果関係はなく、機能性身体症状(何らかの身体症状があり、それに合致する検査上の異常や身体所見が見つからず原因が特定できない状態)と考えられると発表されています。また、平成28年12月厚労省研究班の全国疫学調査の結果が報告され、「多様な症状」がHPVワクチン接種後に特有の症状でないことが示されました。さらに、名古屋市で行われたアンケート調査では、24種類の「多様な症状」の頻度がHPVワクチンを接種した女子と接種しなかった女子で有意な差がなかったことが示されました。

WHOも世界中の最新データを継続的に評価し、HPVワクチンの推奨を変更しなければならないような安全性の問題はないと発表しています。

### HPVワクチン接種後に「多様な症状」が現れた場合の診療体制の整備は?

接種後に何らかの症状が現れた方のための診療相談窓口が、全国すべての都道府県に設置されています。北海道大学病院の「HPVワクチン副反応支援センター」では、小児科、整形外科、神経内科、婦人科、麻酔科、リハビリテーション科、児童思春期精神科が協力して適切な治療、支援を行っています。

また、接種後に重篤な有害事象が発生した場合は、予防接種法に基づく救済制度の申請が可能で、因果関係の有無などを審査後、必要な補償が受けられる可能性があります。

### HPVワクチン接種を検討している場合は?

接種を希望される方は、厚生労働省のリーフレットを讀んだうえで千歳市保健福祉部母子保健課より予診票と案内を受け取り、市内指定医療機関に予約します。市外で接種を希望される場合は、千歳市が発行する「予防接種実施依頼書」が必要です。

### 最後に

子宮頸がんの予防には、HPVワクチン接種と子宮頸がん検診の両方が必要です。そのためには、HPVワクチンの積極的勧奨の再開に加え、定期接種を受けることができなかった女性に対して接種機会の確保、子宮頸がん検診受診勧奨の強化、及び学校でのがん教育の充実などが必要です。また、接種対象者や保護者に対して、接種医がHPVワクチンの十分な情報提供を行い、安心して接種を受けることができる体制の構築も大切と考えます。

